



2025年12月17日

各位

会社名 株式会社大阪ソーダ
代表者名 代表取締役社長執行役員 寺田 健志
コード番号 4046（東証プライム）
問合せ先 執行役員管理本部長 今村 徹
(TEL. 06-7733-1001)

医薬品精製用シリカゲル製造設備の次期増設決定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、医薬品精製用シリカゲルの需要拡大に対応するため、尼崎工場および松山工場の両工場においてシリカゲル製造設備を新增設し、2028年2月に製造能力を現有能力の約2倍へ引き上げることを決定いたしましたので、お知らせいたします。

世界シェアの約70%を占める当社の医薬品精製用シリカゲルは、医薬品等の分析や精製工程において広く使用されており、近年、糖尿病治療薬の需要拡大や肥満治療薬という新たな市場の発展にともない需要が急速に拡大しております。これを受け当社は、50億円超を投じて松山工場の新增設ならびに当初計画から1年前倒しで尼崎工場の第2期増設を行い、2025年度に2023年度比で約2倍となる製造能力の整備を完了いたしました。

また、足元では肥満治療薬において先行製薬企業による大規模な設備投資の進行に加え、中国やインド等の新興国において後発参入やバイオシミラーの開発が急速に進展している状況を踏まえ、当社シリカゲルにおける2025年度以降、2030年度までの需要予測を年平均成長率約20%へと修正いたしました。この前提に基づき2028年頃にシリカゲルの需要が現有能力を上回る可能性が高まったことから、このたびシリカゲルの製造能力を現有能力の約2倍へと引き上げるべく総額100億円超の戦略投資の実施を決定いたしました。

当社は、これら一連の設備投資を通じて安定供給体制の確保とグローバル市場での競争力強化に努め、糖尿病治療薬ならびに肥満治療薬市場を中心とした需要の増加に対応するとともに、当社製品を通じた健康長寿社会の実現への貢献を目指してまいります。

【設備増設の概要】

対象工場	尼崎工場（兵庫県尼崎市大高洲町11） 松山工場（愛媛県松山市北吉田町77）
製造能力	約2倍（現有能力比）
投資金額	100億円超
完成時期	尼崎工場 2027年11月（予定） 松山工場 2028年2月（予定）

以上